

研究課題名 日本のハイボリュームセンターにおける大動脈全弓部
人工血管置換術 1120 例の長期成績

(1) 研究の概要

研究期間 : 2023 年 2 月 21 日 ～ 2025 年 12 月 31 日
研究代表者 : 川崎幸病院 大動脈外科 尾崎 健介
実務担当責任者: 川崎幸病院 大動脈外科 大島 晋
共同担当者 : 川崎幸病院 大動脈外科 大島 晋
 川崎幸病院 大動脈外科 櫻井 茂

(2) 研究の対象

2015 年 1 月から 2021 年 12 月までに大動脈全弓部人工血管置換術を当センターで試行した患者 1120 例

(3) 研究の目的

弓部大動脈の治療法には、従来の大動脈全弓部置換術(TAR)に加え、Hybrid 治療を含めたステント治療がある。一般に TAR は侵襲性が高いとされ、近年ステント治療を選択するケースが増えてきている。しかしながら、ステント治療には急性大動脈解離、shaggy aorta、aberrant vessels など適応の限界や、endoleak といった遠隔期の合併症が存在しており、TAR はいまだ重要な治療選択肢である。本邦でも有数のハイボリュームセンターである当センターでは、弓部大動脈病変に対する基本戦略として TAR を選択し、豊富な治療経験を有している。本研究の目的は当センターの TAR の治療転帰を明らかにし、TAR の意義を再検討することである。

(4) 研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

2015 年 1 月から 2021 年 12 月までに大動脈全弓部人工血管置換術を当センターで試行した患者 1120 例を対象として、性別、年齢、患者背景、手術詳細、術後早期の合併症、長期予後を検討した。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通達などを順守し個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。
発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただくずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 病院安全管理部
(川崎幸病院 倫理委員会 事務局)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番 27
TEL : 044-544-4611 (代表)